



東京あびら会会報



東京あびら会 会長代行 三瓶 広幸

北海道胆振東部地震から2年が経ちました。改めてこの震災で亡くなられたみなさまのご冥福をお祈りするとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。

この2年の間に、様々な災害が起き、私も東京あびら会は、あの凄まじい地震とその被害を風化させないため、また1日でも早い復興を実現させるためにも、この活動を立ち止まらせてはいけなと考えております。しかし新型コロナウイルス感染症が拡大し、日本全体に及ぼした影響は非常に大きく、企業や人々の暮らしに甚大な被害をもたらしています。私も東京あびら会もみなさまのご尽力により3年目の活動に入ることができました。日頃からのみなさまのお力添えに深く御礼申し上げますと共に、更なるお力添えを賜ります様、重ねてお願い申し上げます。

東京あびら会の活動については、コロナ禍により消費の落ち込みが懸念される安平町特産品のアサヒメロンを少しでも応援し一助となれるよう会員特別価格により販売する事業を行いました。

ふるさと安平町の活動は「東京あびら会Facebook」等でもお伝えしておりますが、昨年4月にオープンした「道の駅あびらD51ステーション」の来場者一〇〇万人達成や、ソフトバンク(株様)からのお力添えでAI温度検知ソリューション「センスサンダー」を導入、9月には「ふるさとあびら学生応援事業」を実施し、安平町出身の学生のみなさんを支援する事業も開始いたしました。

ふるさと安平町を引き続き盛り上げていくには、日頃からの継続的な活動や資金を投入して活動を拡充していくことも大切ですが、Facebook「東京あびら会」をみなさまに閲覧頂き、その内容を拡散頂くことで、さらに注目する人々を増やしていく様な活動も力強いサポートになります。こうした地道な活動を通じて安平町を応援して下さる方が一人でも増え、この会に賛同して下さることによって、応援の輪が日本中に広がっていくものと期待しております。東京あびら会が日頃の活動を積み重ねていくことで、みなさまと共にふるさと安平町を支えて行く一助になればと存じます。

今後とも皆様方の熱いご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせて頂きます。



東京オリパラ大臣 橋本聖子

師走の候、東京あびら会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。今年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様に謹んでお見舞いを、また、社会インフラの維持に尽力されている皆様には心より感謝申し上げます。

さて、今年開催予定だったオリンピック・パラリンピック東京大会は1年延期になりました。過去には一九四〇年大会など、戦争のために大会中止になったり、返上されたりした例がありますが、東京大会の延期は、それに匹敵する史上初の事態です。一時は開催を危ぶむ声もありましたが、感染対策をしっかりと講じることを前提に開催し、かつ社会経済活動を維持していくための取り組みに期待が高まっています。この困難な状況にあつて、スポーツの持つ力、そしてオリンピック・パラリンピックの持つ力は計り知れません。そのことを改めて実感しています。

東京大会開催に向けて課題は山積しており、これまでにないほど高い運営能力を求められるだろうと、改めて気を引き締めています。しかし、開催準備の過程では、あらゆる分野の叡智と力を結集することにより、人材を育成し、古くなったインフラや社会制度を見直すことができます。感染症をはじめ、環境、エネルギー等の問題をクリアするための新しい科学技術も進展するでしょう。

また、東京大会は「復興オリンピック・パラリンピック」の旗を高く掲げ、復興の後押しとなるような取組を進めてまいりました。折しも、来年は東日本大震災から10年の節目の年であり、北海道胆振東部地震からも2年以上の月日が経ちました。昨今、自然災害が相次ぎ、だれもが被災者になりうる時代です。災害が起きた時に被害を最小限に抑え、素早く復旧・復興を進めるには、地域での官と民、関係団体の連携が欠かせません。また、年月を経て復興が進めば、課題は分散し、個別化していくはずですが、復興を確かなものにするには、この過渡的な時期をしっかりと乗り切らねばならないと考えています。

東京大会で培ったもの、そのレガシーを地域社会に還元し、次世代を担う子供達が未来を切り開いていく姿を想いながら、全力で担当大臣の職務に取り組みでまいりますので、皆様方の御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



安平町長 及川 秀一郎

皆様には、平素より町政の推進に格別なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げますとともに、各方面においてご活躍され、ふるさと安平の発展のために様々なご尽力をいただいていることに、深く敬意を表します。

さて、我が国において新型コロナウイルス感染症は、首都圏を中心に猛威を振るっており、北海道においても感染者数は拡大傾向にあり、より一層の生活スタイルの変容が求められているところであります。

こうした中においても、安平町は北海道胆振東部地震からの真の復興に向け、歩みを着実に進めてまいりました。特に震災により大きな被害を受けた早来中学校は、校舎が使えなくなり、生徒たちは今もなお仮設校舎での学校生活を余儀なくされていますが、新たな学校の再建に向けて議論を重ね、令和5年度の開校を目指しているところです。

『自分が“世界”と出会う場所』をコンセプトに子どもたちの新しい学び場を創ろうとしている一方で、財源確保が課題となっていることから、企業版ふるさと納税等を通じ、震災からの復興に向けた、早来中学校の再建に応援いただける企業様、そして、安平町とともに復興と未来に向けたステージを目指してもらえる企業様を求めているところです。

安平町の子育て教育環境の充実のため、さらには「子どもたちの未来」、「未来につながる復興」のため、安平町に関わる全ての方々の力を結集し、復興へ歩みを進めてまいります。

皆様には引き続き、安平町の取組にご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、今後とも、ふるさと安平町を応援いただき、様々なカタチでつながりを持っていただけると幸いです。

結びに、東京あびら会のますますのご発展、並びに皆様のご活躍とご健勝を祈念し、私からのメッセージといたします。

東京あびら会 活動について

新型コロナウイルスの影響により消費低迷が懸念されていた、安平町特産品でもある「アサヒメロン」の会員特別価格にて案内し、少しでもふるさと安平町を応援するために「ふるさと応援事業」を実施しました。

また、新規会員の獲得、関係人口、交流人口等を増やすべく、成人式等での、東京あびら会PRも検討しております。新型コロナウイルスの終息がなかなか見えなく苦しい日々お過ごしかと思いますが、東京あびら会が一致団結し、より一層絆を深めていきたく思いますので、ご支援ご協力の程よろしく申し上げます。



新規会員募集中！

当会では、安平町出身者で東京都近県に居住する方や当会の趣旨にご賛同いただける個人様及び企業様を募集しています。

安平町の出身者ではなくても安平町を応援していただけるサポーター会員の枠も設けていますので、知人への声掛け等をお願いいたします。

詳しくは東京あびら会事務局若しくは、東京あびら会ページまでお問合せください。

お問合せ先…東京あびら会事務局（安平町役場政策推進課内）
☎（0145）2212751



東京あびら会
ホームページQR



東京あびら会
Facebook QR

ふるさと納税

北海道安平町ではまちづくりを応援していただける皆様から『ふるさと納税』をインターネット上で簡単に出来るシステムを導入しています。『ふるさと納税』をしていただいた寄付は、当町のまちづくり実現のために有効に活用させていただきますので、皆様のたくさんのお待ちしております。



ふるさと納税
QR

企業版ふるさと納税

安平町では、「企業版ふるさと納税」の取り組みを始めています。

未来へつながる復興を目指し早来中学校の再建に向け皆さまのご支援をお待ちしております。



企業版
ふるさと納税QR